

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	成人歯科検診事業			事業番号	011-180
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現	
		有	取組の方向性	①健やかな生活習慣の形成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
2	関連計画	堺市歯科口腔保健推進計画、堺市健康増進計画						
3	事業開始年度	平成 8 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	健康増進法 歯科口腔保健の推進に関する法律、堺市歯科口腔保健推進条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	満30歳・35歳・40歳・50歳・60歳・70歳、71歳・72歳・73歳・74歳の堺市民と堺市民で75歳以上の生活保護受給者(令和2年3月末 年齢別人口 118,553人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	生活習慣の改善への意識を高め、市民主体の健康づくりの実践へ結びつけることにより、市民がいつまでも食を楽しむよう、生涯にわたる口腔の健康を維持することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>疾患の早期発見により、歯科治療における市民の負担を軽減し、また、歯みがき指導を同時に受けることにより、歯周病を予防し、生涯にわたる口腔の健康を維持する。そのために、歯周病や口腔機能に関する検診の機会を提供し、かかりつけ歯科医での定期的な受診につなげる。</p> <p>成人歯科検診では、歯周疾患を予防し、歯の喪失を防ぎ、口腔機能を保つため、歯周疾患予防に重点を置いた口腔内診査と、歯みがき指導を行う。検診は、自己負担500円で、市内の協力歯科医院で受診することができる。また、71歳以上の市民には、食べる・話す等の口腔機能の衰えである「オーラルフレイル」の症状が見え始める傾向があることから、口腔機能チェックを含めた歯科検診を、令和3年度は自己負担500円で実施する。</p>
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人堺市歯科医師会、一般社団法人狭山美原歯科医師会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度 令和7年度
11 成人歯科検診受診率	%	目標値	1.2	2.1	2.1	2.1
		実績値	2.1	1.8		
		達成率	175%	86%		
当該指標を選定した理由		歯科口腔保健推進計画の目標値でもある、定期的な歯科検診やかかりつけ歯科医を持つ割合の増加を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：対象年齢別人口に対する実績値割合（直近3年間で最も高い実績値を採用）で算定 実績値：成人歯科検診受診率				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 成人歯科検診受診者数	人	目標値	997	2,513	2,544	
		実績値	2,471	2,128		
		達成率	248%	85%		
当該指標を選定した理由		歯科口腔保健推進計画の目標値でもある、定期的な歯科検診やかかりつけ歯科医を持つ割合の増加を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：対象年齢別人口に対する実績値割合（直近3年間で最も高い実績値を採用）で算定 実績値：成人歯科検診受診者数(令和元年度より対象年齢71歳～74歳、75歳以上の生活保護受給者を拡充)				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	成人歯科検診事業	事業番号	011-180
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	4,106	15,300	6,658	13,513	6,055
13 財源内訳					
国支出金	420	367	562	450	562
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	3,686	14,933	6,096	13,063	5,493
14 人件費 (b)	1,500	1,490	1,520	1,520	1,520
15 年間経費(c)=(a)+(b)	5,606	16,790	8,178	15,033	7,575

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R2	決算			
16 事業費内訳	消耗品費	R2	2		R2	決算			
		R3	31		R3	予算			
	印刷製本費	R2	159		R2	決算			
		R3	210		R3	予算			
	通信運搬費	R2	211		R2	決算			
		R3	90		R3	予算			
	成人歯科検診委託料	R2	13,141		12,691	R2	決算		
		R3	5,724		5,162	R3	予算		
		R2				R2	決算		
		R3				R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 受診者数	人	2,471	2,128
② 上記①にかかる年間経費	千円	16,790	15,033
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	6,795	7,064
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>国が示す歯周病検診の対象は40, 50, 60, 70歳であるが、歯周病予防を推進するため、堺市では歯周病を早期に発見するため、30歳35歳を追加して実施している。また、政令市でも先駆的にオーラルフレイルを予防するための口腔機能チェックを含んだ検診を71歳以上の方に実施し、誤嚥性肺炎予防や嚥下機能の低下予防に効果があると考え、健康寿命の延伸に寄与すると考える。受診者数の増加は見られるが、受診率はまだ低い状態なので、さらに受診勧奨の啓発が必要と考える。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>歯周病を予防することで早期の歯の喪失を防ぎ、また口腔機能のチェックを行うことでいつまでもおいしく安全に食べることができ誤嚥性肺炎の予防にもつながる。それらのことから、健康寿命の延伸や、心身の健康の保持増進、生活の質の向上に重要な役割を果たしている。</p>
----	---